



米国の2010年度水道統計について (その1)

(はじめに)

米国では、原則として毎年度、環境保護庁(EPA)から「水道統計(正式には、FACTOIDS: Drinking Water and Ground Water Statistics)」が出されてきました。そこで、「水道ホットニュース」では、米国の水道事業体数、給水人口などについて「米国の2009年度水道統計」などとして紹介してきたところです。

一方、2010年度の米国水道統計データの表題は「Fiscal Year 2010 Drinking Water and Ground Water Statistics」とされ、2011年6月、EPAから公表されました。そこで、これらのデータを用いて「米国の2010年度水道統計」として、その概要を紹介することとします。

なお、以下に紹介する内容の詳細については、EPAホームページを参照していただくようお願いいたします。また、以下の内容に誤り等がありましたら、ご教示いただければ幸いです。

(出典)

<http://water.epa.gov/scitech/datait/databases/drink/sdwisfed/howtoaccessdata.cfm>
http://water.epa.gov/scitech/datait/databases/drink/sdwisfed/upload/new_Fiscal-Year-2010-Drinking-Water-and-Ground-Water-Statistics.pdf

(注) 米国の会計年度は「10月から翌年9月まで」ですので、ご注意ください。

1. 米国における水道の分類

米国水道統計における水道の分類は、次のとおりである。

①市町村水道システム (Community Water System)

公共用の水道システム (Public Water System) で、年間を通じて、少なくとも25人以上の同じ人々又は15以上の同じ給水栓に対して水道水を供給するシステムをいう。

②専用水道システム (Non-Transient Non-community Water System)

公共用の水道システムで、25人以上の同じ人々に対して、1年間のうち6ヵ月以上水道水を供給するシステムをいう。例としては、自己の水道システムを持つ、学校、工場、オフィスビル、病院が挙げられる。

③一時利用水道システム (Transient Non-Community Water System)

公共用の水道システムであるが、ガソリンスタンドやキャンプ場などのように、一時的に利用する人々に対して水道水を供給するシステムをいう。

2. 米国の「2010年度水道統計」の概要

2010年度において、米国には159,945の公的な水道システム（public drinking water systems）が存在する。これらの各々のシステムは、25人以上の人々又は15以上の給水栓に対して、水道水を供給している。

表1に示すように、米国のほとんどの人々（約3億人）は、市町村水道システムから水を得ている。そして、52,873の市町村水道が存在するが、82%の人々は、8%（4,217システム）の「規模の大きい水道システム（給水人口10,001人以上）」から水道水の供給を受けている。

表2は水道水源の内訳であり、多くの水道システムが地下水に依存しているものの、多くの人々は表流水を水源とする水道システムから供給を受けていることがわかる。

表1 水道システム別・給水人口別にみた水道システム数・給水人口（米国2010年度水道統計）

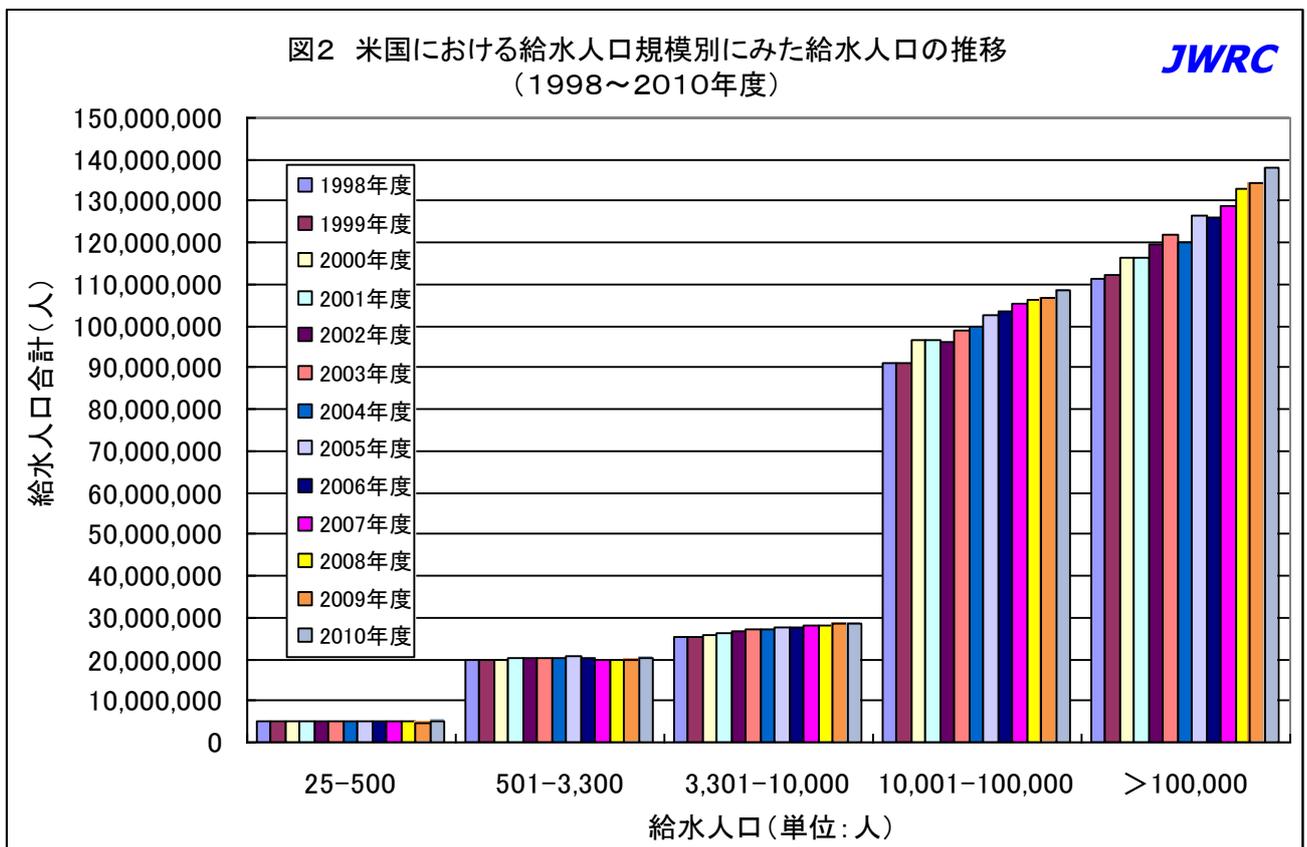
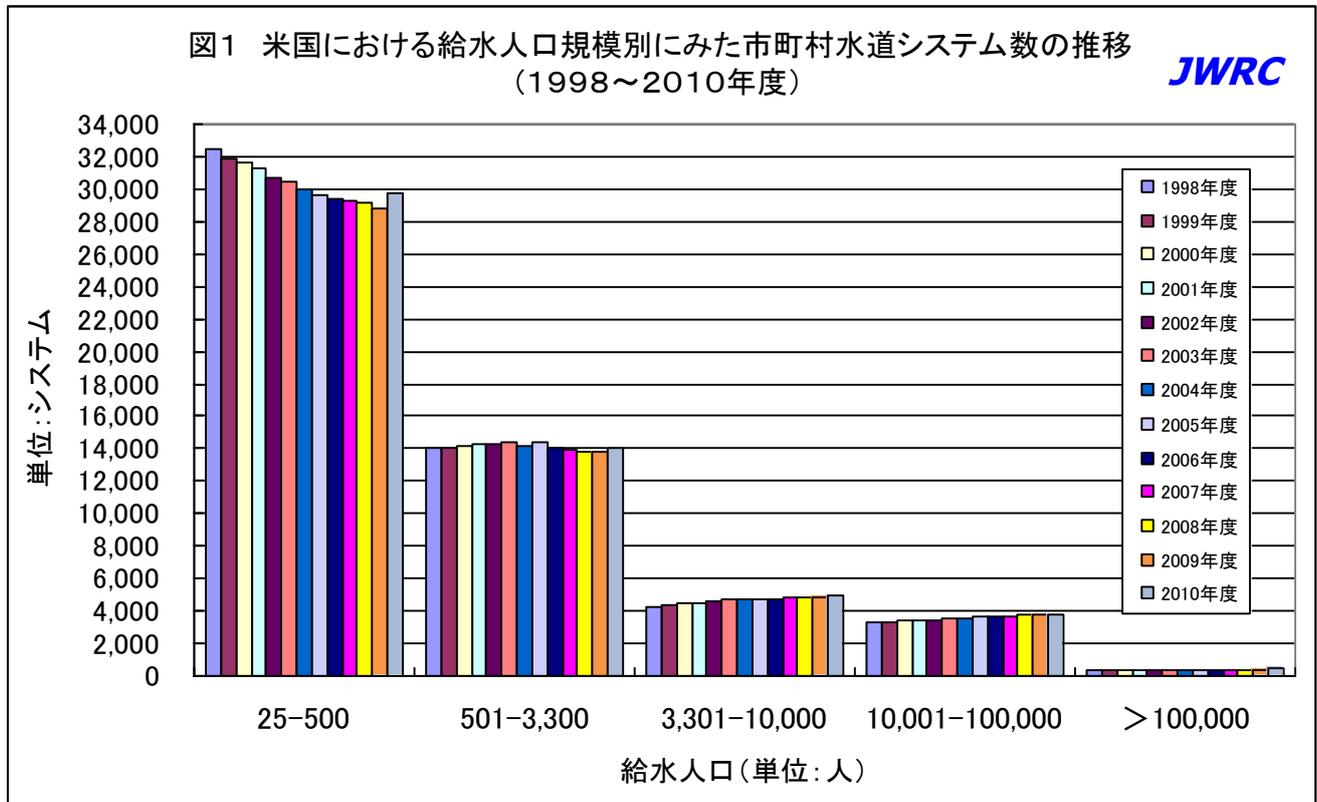
		500人 以下	501～ 3,300人	3,301～ 10,000人	10,001～ 100,000人	100,000人 以上	合計
市町村水道 システム	システム数	29,711	14,031	4,914	3,801	416	52,873
	給水人口	4,905,001	20,085,926	286,258,556	108,506,758	138,079,831	300,203,372
	システム比率	56%	27%	9%	7%	1%	100%
	給水人口比率	2%	7%	10%	36%	46%	100%
専用水道 システム	システム数	16,577	2,669	134	19	1	19,400
	給水人口	2,283,468	2,765,182	706,618	447,755	203,000	6,406,023
	システム比率	85%	14%	1%	0%	0%	100%
	給水人口比率	36%	43%	11%	7%	3%	100%
一時利用 水道システム	システム数	84,785	2,780	94	12	1	87,672
	給水人口	7,471,915	27,035,456	518,014	385,072	2,000,000	13,078,547
	システム比率	97%	3%	0%	0%	0%	100%
	給水人口比率	57%	21%	4%	3%	15%	100%
システム合計	システム数	131,073	19,480	5,142	3,832	418	159,945

表2 水道システム別・給水人口別にみた水道水源の内訳（米国2010年度水道統計）

		地下水	地表水	合計
市町村水道システム	システム数	40,813	11,976	52,789
	給水人口	89,459,821	210,721,362	300,181,183
	システム比率	77%	23%	100%
	給水人口比率	30%	70%	100%
専用水道システム	システム数	18,581	776	19,357
	給水人口	5,529,352	869,312	6,398,664
	システム比率	96%	4%	100%
	給水人口比率	86%	14%	100%
一時利用水道システム	システム数	85,303	2,190	87,493
	給水人口	10,490,113	2,575,140	13,065,253
	システム比率	97%	3%	100%
	給水人口比率	80%	20%	100%
システム合計	システム数	144,697	14,942	159,639

3. 米国における水道システム数及び給水人口の推移

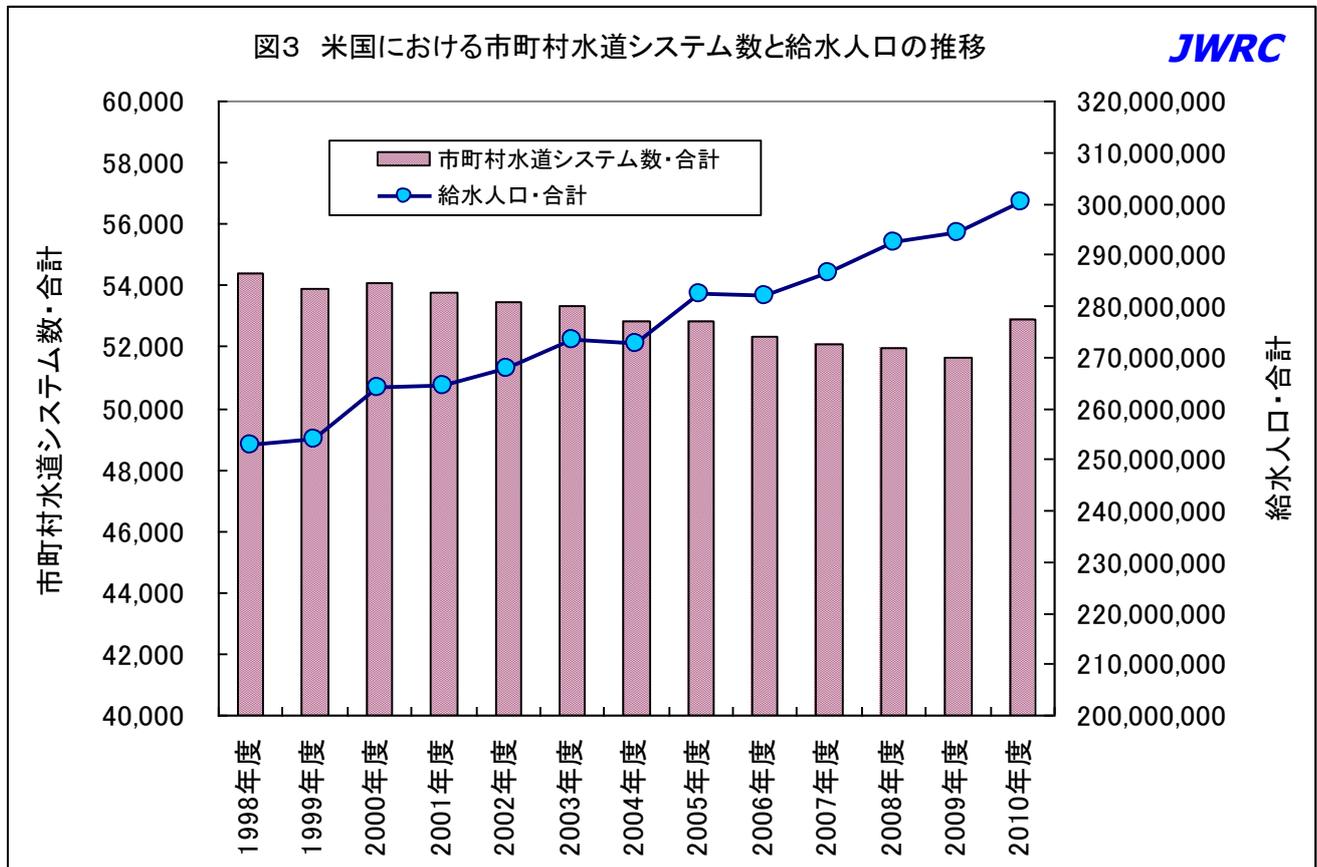
米国における水道事業体数及び給水人口の推移（1998～2010年度）は図1・図2のとおりであり、2009年度までは、規模の小さい水道システムの数・給水人口が減少し、規模の大きい水道システムの数・給水人口が増加傾向を示していたが、2010年度は規模の小さい水道システムの数も増加している。



4. 市町村水道システム数と給水人口の推移

図3は、米国における過去13年間（1998～2010年度まで）の市町村水道システム数と給水人口の推移をグラフで示したものである。

グラフからわかるように、米国では、給水人口は増加傾向が続いている。一方、市町村水道システム数・合計は2009年度まで減少傾向にあったが、2010年度は前年度に比べて増加している。



(文責) センター常務理事兼技監

安藤 茂

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h23.html>